

～感染症に強いまちづくりを目指して～

<保健師>

感染症対策課 牧菌保健師

(略歴)

令和2年 4月 中央保健センター 採用

令和5年 4月 感染症対策課



●これまで経験した仕事と、現在の仕事について教えてください。

令和2年4月に保健師として入庁し、中央保健センターに配属されました。その後3年間の保健センター業務を経て、令和5年4月から感染症対策課に配属となり、現在に至ります。

保健センターでは新生児訪問や乳幼児健診、健康教育、保健指導等、新生児から高齢者まで幅広い年代の方の健康づくりのサポートをしていました。

現在、感染症対策課では、感染症患者発生時の調査や早期発見のための検査運営、感染症の啓発活動、結核患者の服薬支援などを行っています。

●なぜ鹿児島市役所職員になったのですか。

大学での臨地実習を通し、地域で暮らす人々の健康を支え、疾病の1次予防から3次予防まで関わることのできる保健師という職に魅力を感じました。保健師として働くなら、自分の生まれ育った鹿児島市に恩返しをしたいという思いから鹿児島市役所を志望しました。

●鹿児島市に住んでいて、どんなところに魅力を感じますか。

豊かな自然と多様な都市機能が共存しているところが魅力だと感じます。鹿児島を語る上では欠かせない桜島は市街地からもその雄大な姿を望むことができます。時には火山灰に降られることもあります。噴煙が上がる姿は圧巻です。

市内の至る所に温泉があるので仕事帰りに気軽に温泉に行けたり、おいしいごはん屋さんがたくさんあるところも魅力的です。

●仕事のやりがいや魅力について教えてください。

保健師の仕事はすぐに結果が出ないことも多いですが、地域の方と一から少しずつ信頼関係を築き、「相談してよかった」「ありがとう」と言ってもらえたときや、その方の笑顔を見たときに私もたくさん力をもらっている気がします。

新生児から高齢者まで幅広いライフステージの方を対象とし、領域も育児支援や介護予防、感染症対策等多岐に及ぶため、大変なことも多いですが、その分日々の業務から得られる学びも多く、それが保健師業務の魅力でもあります。

●働くうえで心がけていることは何ですか。

一つ一つ丁寧な対応を心がけています。相手の不安な思いに耳を傾けながらも、正しく必要な情報を伝えなければならない場面も多いため、困っていることや疑問に思っていることに対しわかりやすく丁寧に説明するように意識しています。

また、多職種で連携して行う業務も多く、日々の業務で悩むときはひとりで考えこまず、上司や同僚に相談したり、他職種の視点からの考えを確認したり、周りの意見を聞くように心がけています。

●市役所職員を目指している人へ一言お願いします。

幅広い業務に取り組むことでたくさんの人や多様な機関と関わることができ、その経験を通して成長し続けられる仕事だと思います。いつかみなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

～ ある日の業務スケジュール ～

